

「仙台市小学生交通環境学習の取り組みについて」

仙台市都市整備局総合交通政策部公共交通推進課

仙台市では、鉄道やバスなどの公共交通利用者の増加を目指すため、「せんだいスマート」をキャッチフレーズに様々な公共交通利用促進のソフト施策を推進しています。その一環として、交通エコロジー・モビリティ財団の支援を受け、平成22年度より「小学生交通環境学習」に取り組んでおり、「仙台市小学生交通環境学習推進委員会」を立ち上げ、児童が「公共交通を交通手段の一つとして考えられる」ようになることを全体目標に、低・中・高学年の各段階毎に目標を設定し6年間を通じ、一貫した学習の普及に取り組んでいます。

小学校では、各方面から多くの学習プログラムが提案されおり、新たな教科単位として交通環境学習を導入するのは、学校や先生の負担となることから、取り組みでは既存の教科単位と関連付け、通常の授業の中で取り組みやすくするとともに、先生の授業準備等の負担を軽減することを実施方針としています。

24年度は、6つのモデル授業を実施し、交通と環境の関わりや交通とまちづくりの関わりについて学習することとし、先生と共同で授業計画を作成しました。授業を実施した先生からは、「バスを身近に感じられるようになった」「環境問題に対する問題意識を持つことができた」などの評価が寄せられました。25年度は、先生から頂いたアドバイスをもとに、学習内容・授業計画の確定等に取り組めます。

最終的には、学校主体の取り組みとして全市的に「小学生交通環境学習」を普及させ、通常の授業に取り込んでもらえるように、引き続きマニュアル作成や広報について、「仙台市小学生交通環境学習推進委員会」で検討を重ね、全市的な普及の実現を図っていきたいと考えております。